

こ ん に ち は



今年の節分は2月2日でしたね



令和3年 如月号

新型コロナウイルス感染症の拡大を抑制するために発令された緊急事態宣言が、3月7日まで延長となりました。横浜市では、1月4日（月）から10日（日）まで、1週間のPCR検査陽性者数の合計は1707人で、2月1日（月）から7日（日）までの陽性者数の合計は694人と、依然として高い値は続いています。確実に減少傾向にあります。



コロナ禍における都筑区医師会の取り組み

- 休日急患診療所では、日曜・祝日の昼間に、医師の診察にて検査が必要と判断された方には、PCR検査を実施しています
- 都筑区医師会のホームページに、新型コロナウイルス感染症の検査に対応しているクリニックを載せています



※記載されているクリニック以外でも、検査に対応している場合がありますので、まずは、かかりつけの医療機関への問い合わせをお勧めします。体調の異変を感じ、休日急患診療所やかかりつけ医に受診される際は、事前の電話予約が必要です。

○地域でコロナ禍を乗り越えるために、オンラインでも多職種連携を図っています
2月11日に、都筑区における新型コロナウイルス感染症の現状や対応について情報を共有し、お互いの悩みを相談し合う『地域のコロナ事情を語り尽くそう』という会を、オンラインで開催しました。事業所によって知っている情報や対策などの差異を知る機会となり、地域の事業所が情報を正しく理解し、対応できることが、地域でコロナ禍を乗り越えることができる重要なポイントだと感じました。



都筑区医師会訪問看護ステーション	TEL 045-913-5181
都筑区医師会ヘルパーステーション	TEL 045-913-3577
都筑区医師会24時間在宅ケアステーション	TEL 045-913-3577
都筑区医師会居宅支援センター	TEL 045-910-6327
都筑区医師会福祉用具センター	TEL 045-911-6100
都筑区医師会ナーシングホーム	TEL 045-913-6321

看護・介護・福祉用具・24時間在宅ケア

居宅

FAX 045-911-6700

FAX 045-910-6506

☆☆パソコンから在宅事業部門の活動内容を見ることが出来ます。ぜひご覧下さい☆☆

http://www.tsuzuki-med.org/wp/center/zaitaku_features/

『ヨコハマつづき健康生活ナビ』の『在宅事業部門』からお入り下さい。



健康まめ知識



眼に効果があるとされているブルーベリー。他にも、たくさんの健康効果がある事をご存知でしょうか？ブルーベリーの小さな粒の中には、たくさんのビタミンやミネラルが含まれています。それだけでも健康になれるそうですが…抗酸化物質も豊富で、環境的ストレスや加工食品に反応して、体内の細胞から生成される老廃物から守ってくれる作用があります。さらにアントシアニンという成分が、血管の機能や動脈壁の硬化を改善し、血圧を下げる効果があります。他にも、集中力や記憶力の向上、血糖値の急上昇を抑える効果、体内の悪玉コレステロールが酸化するのを防ぐ効果など、さまざまな健康効果が期待されます。毎日少しずつ続ける事で健康になれる事、間違いなし！！ぜひ試してみてください♪



福祉用具、青空研修会

昨年の11月、福祉用具センターでは初めて青空研修（密を避けるため、屋外での研修）を行いました。今回勉強したのは、パラマウントベッド社の新型『楽匠プラス』です。このベッドは、家庭内呼び出し機能を搭載しており、手元のベッドリモコンで、ご家族のスマートフォンに通知することができます（専用アプリのインストールが必要）。他にも、スマートフォンによるベッド操作やメモリーポジション機能など、新機能が文字通り「プラス」されています。福祉用具分野でもIT技術を生かす時代がやってきたようです。今後も革新的な商品が出たら、積極的に紹介致します。



インフルエンザ患者数が例年の2000分の1！？大幅に少ない状況が続いています

例年、この時期のインフルエンザは流行のピークに向けて患者が急増しますが、厚生労働省によりますと、この時期になっても全国的な流行期に入らなかったのは、過去16年で初めてのことです。インフルエンザの発生状況は毎年異なり、患者数にも幅がありますが、全国の保健所地域で警報レベル、注意報レベルを超えている地域はありませんでした。

インフルエンザ発生状況が昨年に比べて激減しているのは、国外との往来の減少、受診者の減少など、複数の理由があると考えられていますが、多くの方が新型コロナウイルスの感染予防でマスクや手洗いをしていることも、大きな要因であると考えられます。



冬期に流行する感染症！ノロウイルス感染症・ウイルス性胃腸炎にも注意が必要

ノロウイルス感染性胃腸炎の感染者は昨シーズンより少ないものの、例年、12月中旬にはピークを迎え、2月まで集団感染が続く時期とされています。今は1年で最も流行する季節ですので、ノロウイルス感染症への対策にも注意が必要です。ノロウイルス感染症の感染予防策として大切なことは、接触感染を防ぐための流水・石鹸による手洗いが一番重要です。



編集後記

年が明けて、あっという間に2月になりました。2月3日は立春。暦上では春ですね。あちこちで花が咲き始め、少しずつ春の気配を感じるようになりましたが、まだ寒い日は続くので、体調を崩さないようにしたいと思います。



【目安箱】

ご意見、ご要望などは、いつでもご遠慮なく、ご連絡いただけますようお願い申し上げます。

913-5181 統括管理者 吉井